

令和 8 年 度

業務番号 改委 第 2-7-1 号

八戸港改修（施改補助）河原木5号栈橋調査設計業務委託

# 仕 様 書

八戸市 豊洲 地内

青森県三八県土整備事務所

**八戸港改修(施改補助)河原木5号棧橋調査設計業務委託**  
**【仕様書】**

**1. 測量業務(現地調査業務)**

＜現地調査業務＞

・計画準備

現地調査業務を行うにあたって事前に業務全体の目的及び内容を把握し、調査の手順及び遂行に必要な事項を企画立案する。

・現地調査

対象施設（プラットフォーム、ドルフィン2か所）の上部工側面、下面、渡橋、連絡橋（柵含む）及び鋼管杭について、船上及び潜水により、それぞれ目視調査を行い、損傷状況を把握する。また必要に応じて目視箇所のかき落としを行う。

鋼管杭26本に対して、肉厚調査を行う。肉厚調査は1本あたり3つの水深で行い、水深ごとに東西南北の4方向から計測を行う。

上部工コンクリートについてコア抜きを行い、一軸圧縮強度試験、中性化試験、塩分含有量試験を実施する。

・旅費交通費

旅費交通費については、船舶離着棧の影響により、現地調査工程が不透明であることから、必要に応じて受注者より変更協議にて別途計上とする。

**2. 設計業務**

＜基本設計＞

・設計計画

基本設計の目的、内容を把握し、業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。

・資料収集・整理

貸与資料の整理、必要となる技術基準等、要求性能、性能規定及び性能照査手法を設定するために必要となる資料を収集し整理・提案する。

・設計条件

対象施設に関して、利用条件（対象船舶、上載荷重等）、自然条件（潮位、土質条件等）を整理する。土質条件については、土質資料を整理・解析し、所要の条件を設定する。

・安定性の照査

上記の現地調査結果より、対象施設の杭に対して、安定性照査を行う。安定性照査では施設の供用期間の目標に応じた時点での残存耐力を評価する。

#### <細部設計>

- ・設計計画

細部設計の目的、内容を把握し、業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。

- ・鋼管杭補修設計

上記の現地調査結果より、鋼管杭補修設計の検討を行う。なお、補修杭の本数は1本を想定、補修工法として鋼板溶接による補強を想定しているが、現地調査の結果次第で補修杭本数の変更、工法の変更若しくは更新が必要となる場合もある。この場合は、変更協議を行う。

- ・対策方法の比較検討

上記で検討した補修設計内容に対し、概算数量及び概算工事費（標準的な維持管理費を含む）を算定し、安定性、耐久性、経済性、施工性等を踏まえて総合的な比較・検討を行い、最適な構造断面を決定する。

- ・防食設計

鋼管杭について防食設計を行う。

- ・上部工補修設計

上記の現地調査結果より、上部工（渡橋及び連絡橋含む）補修設計の検討を行う。なお、上部工の補修工法としてひび割れ補修もしくは断面修復、渡橋・連絡橋は塗装補修を想定しているが、現地調査の結果次第では工法の変更若しくは更新が必要となる場合もある。この場合は、変更協議を行う。

#### <実施設計>

- ・図面作成、数量計算

工事発注に必要な図面（仮設足場図面を含む）と数量計算書を作成する。

#### <協議・報告>

初回、中間2回（現地調査報告含む）、納品時の計4回を想定している。必要に応じ、中間打合せが必要となる場合は、変更協議とする。